



▼ 開成幼稚園の園児が花を植えた「にじいろガーデン」



駅前花壇に彩りを

☎ 吉田島高校生徒による花植え：吉田島高校 ☎82-0151
開成幼稚園園児による花植え：都市整備課 ☎84-0321

6月13日（木）に、吉田島高校草花部の生徒と松田警察署青少年補導員が、また、6月24日（月）には開成幼稚園の園児が、開成駅西口駅前広場にある花壇で花の植栽をしました。
一つひとつ丁寧に植えられた花で、駅前がきれいに彩られました。



国語の授業 × 給食

☎ 学校教育課 ☎82-5221

6月25日（火）、開成小学校で2年生の国語教材『スイミー』をモチーフにした給食が提供されました。スイミーが描かれたトーストに、魚の形のにんじんが入ったシチュー、虹色のクラゲをイメージしたゼリーなどが並び、児童たちはスイミーの世界に飛び込んだ気分で給食を味わいました。



小学生が浄水場見学

☎ 都市整備課 ☎84-0321

6月18日（火）、25日（火）に高台第一浄水場で、開成小学校と開成南小学校の4年生を対象とした浄水場見学会を実施しました。
地下水100%の開成町の水道水がどのように町内に届けられるのかを学び、見学後にはできたての水を試飲しました。「冷たくておいしい！」と好評で、おかわりをする児童もいました。



カヌー教室の講師から学ぶ！ どう守る？子どもの命

楽しい夏休み真っただ中！子どもたちにはいっぱい遊んで、いっぱい学んで、いろんな経験を積んでほしいですね。しかし、子どもたちの遊びには危険も潜んでいます。周りの大人はどのように子どもたちをサポートするのがよいのか、考えてみましょう。

☎ 企画政策課 ☎84-0312

今回お話を伺ったのは…

山北町スポーツ協会カヌー部 部長
瀬戸 宏さん

山北町の丹沢湖などで、町主催のカヌー教室の講師を務めるほか、学校などでもカヌーの楽しさを伝えています。



カヌーは、レクリエーションとしても競技としても楽しさいっぱい！一方で自然を相手にするため、危険や難しさもあります。私もカヌーからたくさんのことを学び、皆さんに伝えています。



体験は宝物

親子でカヌー教室に参加している家族も多く、親子のふれあいもステキな思い出になります。水の上を気持ちよく滑るカヌーに乗って、自然を感じ、景色を眺めて楽しむのも特別な体験です。



しかし、子どもの遊びには危険がいっぱい！
あなたはスマホではなく、子どものこと、見ていますか？

自分の命は自分で守る！さらに、

大事故の危険性もあるカヌー。転覆した場合の対応方法やライフジャケットの着用など、リスクへの備えが重要です。そして、カヌーは自然と向き合い、自分自身と向き合うスポーツ。天候は問題ないか、体力や体調は万全か…。時には自分の命を守るために「今日はやめよう」という判断も必要です。
周りの大人は、もしもの時、いつでも助けられるように目を離さず見守りましょう！



取材後記

カヌーだけでなく、子どもの遊びには危険も伴っています。子どもが危険を感じる経験も必要です。しかし、保護者が事前に防がなければならない危険もあります。最近、子どもが遊んでいる傍らでスマホに夢中になっている保護者を目にする事ができます。防げる事故を防ぐためにも、子どもの見守りは疎かにしてはいけませんね！

まちづくり情報特派員 小田 猛